

監護相当・生計費の負担についての確認書

※記入例

第3子以降の加算対象となる18歳年度末以降～22歳年度末までのお子さんを記入してください。

※18歳年度末以降～22歳年度末までのお子さんを含め、3人以上のお子さんを養育している方のみ提出してください。（第3子以降加算の審査に必要となります。ただし、支給対象とはなりません。）

相当・生計費の負担」という。）を
面を参照）

1	ふりがな 氏名	生年月日			住所		
	かでな はじめ 嘉手納 一	平成 令和	●	年 9 月 1 日	嘉手納町字嘉手納〇〇番地 △△アパート〇〇〇号室		
	個人番号	続柄	職業等（いずれかに○）※	通学先（学生の場合のみ）	卒業予定時期 （学生の場合のみ）	申立人による監護相当の状況（いずれかに○）	申立人による生計費の負担の状況 （該当するものすべてに○）
	0:0:0:0:0:0:0:0:0:0:0	子	学生 ● 無職 〇 その他 〇	〇〇大学	令和 ● 年 3 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）
3	ふりがな 氏名	生年月日			住所		
	平成 令和	年	月	日			
	個人番号	続柄	職業等（いずれかに○）※	通学先（学生の場合のみ）	卒業予定時期 （学生の場合のみ）	申立人による監護相当の状況（いずれかに○）	申立人による生計費の負担の状況 （該当するものすべてに○）
			学生 ● 無職 〇 その他 〇		令和 年 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）

対象となるお子さんの個人番号（マイナンバー）を記入してください。

就業して収入があるお子さんでも、児童手当の請求者（受給者）の経済的負担がある場合は、【その他】に○をつけてください。

現時点での卒業予定時期を記入してください。
※卒業予定時期が22歳到達後の3月以降になる場合でも、加算対象となるのは、22歳到達後の3月までです。

上記の【申立人による監護相当の状況】及び、【申立人による生計費の負担の状況】において、監護・生計費負担の両方がある場合のみ申請することができます。

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

【申立人】（児童手当の請求者・受給者） 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

住所 **嘉手納町字嘉手納〇〇番地 △△アパート〇〇〇号室**

氏名 **嘉手納 花子**

児童手当の請求者（受給者）の住所及び氏名を記入してください。

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。